

# 山形県立農業大学校

# 同窓会だより

## 第6号

.....

平成18年 9月10日  
 山形県立農業大学校同窓会  
 新庄市大字角沢1366  
 TEL. 0233-22-1527  
 FAX. 0233-23-3119

### 同窓会長に 選任されて

同窓会長 庄司 茂  
 (金山町 昭和49年卒)



秋の深まりとともに、農作物の収穫作業が日毎に忙しさを増す今日この頃、同窓生の皆様には各地

域におかれ、ご活躍のことと存じます。さて、去る七月二十九日に開催された総会において、津藤前会長の後任として会長に選任されました。津藤前会長には、長年に亘り、同窓会及び農業大学校発展のため、多大なご尽力をいただきましたことに深く感謝申し上げます。今後は、顧問としてご協力をお願いしております。

ところで、昨年オープンしました「農大市場」も、農大生が自ら売るといふ体験は、今後の学習に大きなプラスになることと思います。また、同窓生を中心とする「運営協力会」の支援もあり、今年もまずまずのスタートとなりました。

農業大学校は、新たな期待と発展の時代にあります。同窓会も、新役員体制のもとにより連携を密にし、農大の機能強化が一層図られるよう協力して参りたいと考えております。

### 退任にあたって

前同窓会長 津藤 次雄  
 (鮭川村 昭和43年卒)



長い間、同窓会を支えていただきました。また、同窓会に所属する皆様の皆様、そして、大学校職員の皆様方に深く感謝申し上げます。

西も東もわからなかった私でしたが、卒業すると同時に役員になり、さらに、高橋前会長の後を引き継ぎ、指導を仰ぎながら、同窓会長を二十年間務めさせていただきました。

その当時から今日までが、つい昨日のように思い出されます。

この間、六十万石米づくり運動から転じての減反政策、安孫子知事時代の移動知事室にまで出向いての農大整備の陳情、板垣知事時代の緑風館の完成、また、竹俣農林水産部長時代の米国コロラド州MCCとの姉妹校提携、高橋知事を迎えての創立四十周年・五十周年記念式典開催等々。さらには、齋藤今朝治校長先生を始めとして、十一名の校長先生とお付き合いさせていただき、農業大学校発展のため全力を傾注して参りました。

今後は、庄司会長を中心に「日本一の農業大学校」を目指し、頑張っていたきたいと思えます。

### 新時代に向けた 農大づくり

農業大学校長 小田 宏平



学生たちは、毎日元気に、新しい生産技術の習得等の勉強にいそしんでおります。大学校生活や将来における目標と計画を早く立て、その実現をめざし自己統制する能力を磨き上げていって欲しいと願っています。

さて、「東北一・日本一の農業大学校」をめざし、昨年度、機能強化検討委員会を立ち上げ、OBの皆様にはアンケート調査でご協力をいただきながら、今後のあるべき姿・方向性を検討し、今年一月、報告書を取りまとめしております。

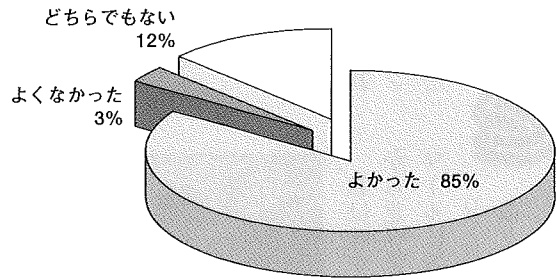
今年度は、この報告を基本に、教育内容の拡充や施設整備等に関する基本構想をまとめることとしており、第一回目の会議が、この七月、本校を会場に開催されたところであります。

こうした取り組みにより、若者が是非学びたいと思える学校、入学した学生の農業をやる気が一層高まる学校を作り上げ、二一世紀の農業を担う技術力の高い経営のスペシャリスト、地域のリーダーとなる多様な担い手を育成したいと考えております。今後ともご支援・ご協力をお願い申し上げます。

### 農業大学校に関するアンケート調査結果について

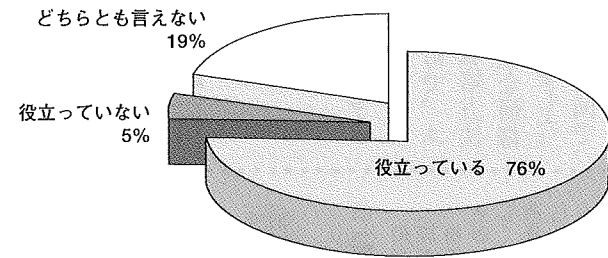
農業大学校卒業生の活躍状況や本校への要望事項等を把握し、教育内容の充実及び機能強化に反映させるため、平成17年7月20日に卒業生全員に対して郵送による無記名アンケート調査を実施しました。その結果、471名から回答がありましたので、その概要をお知らせします。

問 農業大学校での寮生活について.....



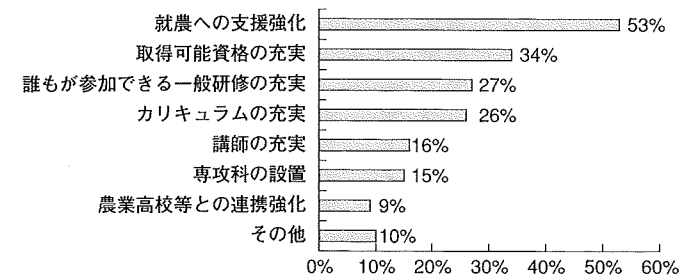
■寮生活は、ほとんどの方が「よかった」  
 「よかった」が全体の85%で、「よくなかった」は3%でした。多くの方が寮生活で学んだことが大きいと感じているようです。  
 ただし、20~30歳の若い年代ではやや低く、老朽化や二人部屋について検討すべきという意見がありました。

問 農業大学校で学んだことは現在のあなたに役立っていますか.....



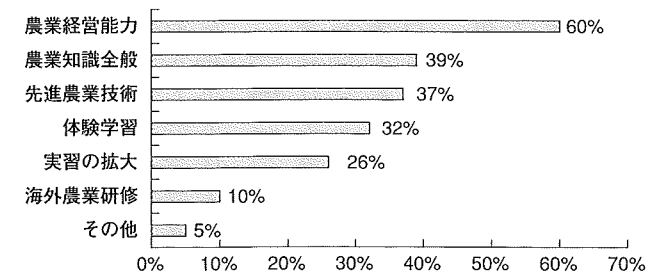
■約3/4の方が、「農大で学んだことが役立っている」  
 就農した方の多くが役立っていると回答しています。

問 農業大学校の農業後継者育成機能を強化するため何が必要と考えますか(複数回答可).....



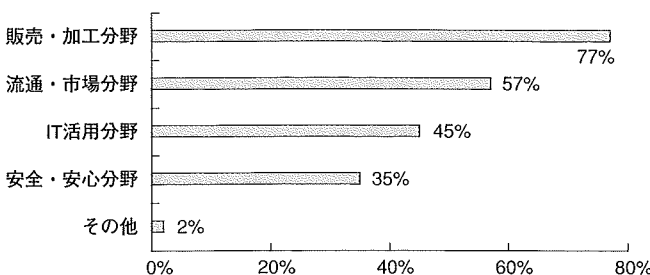
■農業後継者育成機能を強化するためには、「就農への支援強化」  
 全体の53%が「就農への支援強化」が必要と考えています。農家の師弟に加え、非農家の就農も含めた就農時の資金等の支援が必要であるという意見が多かったです。

問 今後の農業大学校の教育カリキュラムでさらに充実が必要な科目は何ですか(複数回答可).....



■今後充実が必要なのは「農業経営能力」を向上する科目  
 「農業知識全般」や「先進農業技術」が必要と考える方よりも「農業経営能力」の向上が必要であるという回答が多い結果となりました。技術系の科目に加え、経営関係科目の充実を図る必要があると思われます。

問 今後、さらに必要な科目は何でしょうか(複数回答可).....



■今後さらに必要な科目のトップは「販売・加工分野」次いで「流通・市場分野」  
 「販売・加工分野」が全体の77%で最も多く、「流通・市場分野」が57%で次に多い結果となりました。農業技術、農業経営能力に加え、こうした分野の科目を増やしていく必要があると思われます。

# 農大 機能強化検討委員会の報告

齋藤知事の実践型の人材を育成確保するために「東北一・日本一の農業大学校」の設立を目指すという選挙公約の実現を図るため、平成十七年七月「農大機能強化検討委員会」が設置され、二回の検討を経て報告書が発表されました。その報告内容の概要をご紹介します。

## 一 農業大学校の目標

これまで地域をリードする担い手育成や実践教育を理念に、本県農業の中核を担う数多くの農業者を輩出してきた。現在、この理念のもと①高度で実践的な農業生産技術の習得と応用力の養成、②創造性豊かな時代の変化に即応できる企業感覚の養成、③将来の山形県農業を担うリーダーに相応しい資質と能力養成、の三点を教育目標に掲げている。

今後ともこうした目標を基本に、あらゆる可能性に満ちあふれた二十一世紀の農業を担う技術力の高い経営のスペシャリスト、地域のリーダーとなる多様な担い手の育成を進めていく。

## 二 教育内容の充実強化

### ○養成部の定員

現在の就農状況や十八歳人口の減少などを踏まえ、総合的な視野に立って判断。学科と専攻コース加工からマーケティングまでの一貫したカリキュラムで学習する「農産加工経営学科」の新設検討、そのために大学・研究機関とも一層の連携を図る。

### ○園芸教育の強化のため、「果樹経営学科」の新設の検討

専攻科的機能新たな専攻科の設置よりもカリキュラムの充実強化に努める。中期海外研修、長期研修の体制、研修部での「農企業ビジネス課程」等の設置の検討、四年制大学の三年次編入可能な制度の協議

### ○入試制度

指定校推薦制度やAO入試制度等の導入の検討  
 ○経営・IT教育  
 先進的農業経営者や法人への派遣研修の充実強化、経営者との交流推進。販売体験等を活用した企業経

営感覚の養成、経営感覚を磨く教育内容の充実についての検討。  
 情報サイト「あぐりん」を活用したIT教育の推進  
 ○資格・免許  
 新たにアーク溶接、フォークリフト等資格取得の検討。  
 三 学習環境の整備  
 ○施設整備  
 学生寮の改築、階段式講堂、IT教室の整備などを協議、食堂・農産加工実験棟・図書館・IT授業室の情報機器の整備の検討  
 ○寮制度  
 全寮制については教育の一環としてその有意性を再確認し、現在の制度を維持する。  
 四 農高、大学等との連携  
 ○農高教員の研修の場としての農大の活用  
 ○学生と農高生との交流  
 ○山形大学をはじめ近隣県大との連携の検討、公開講座への学生の参加や大学教授からの講義などについて協議  
 五 就農への支援と指導  
 ○卒業後のフォローアップを継続的に実施する。そのため、県担い手センターを核として関係機関による一体

## 平成十九年度からの農大の変化

★加工実習の充実強化  
 山形大学と県は、地域課題について共同で事業を進めるために連携協定を本年五月に締結。  
 その第一弾として、県の地域再生計画に位置づけつつ、工学部大学院では文部科学省の事業を活用して最

となつた対策を推進  
 ○地域同窓会の組織化によるネットワークづくりを推進  
 ○非農家出身者等への資金面も含めた就農支援制度の確立や専門スタッフの配置の検討  
 その他、リカレント教育の充実強化や効率的な学校運営等についても報告されている。  
 また、今年度は七月に新たに「農業大学校機能強化推進会議」が設置され、十二名の委員のもとで三回会議をもち、十一月に具体的な基本構想をまとめることになっております。  
 なお、委員には同窓会を代表して津藤前会長が就任しております。

## ★専攻科校化

これまでの農業改良助長法にもとづく農業者研修教育施設としての位置づけに加え、専攻学校の位置づけを加えるものです。  
 メリットとしては、①卒業生の四年制大学三年次への編入可能、②卒業生に「専門士」の称号が与えられる、③日本学生支援機構の奨学金を受け取ることがあげられます。

## ★授業料等の徴収

六月の県議会で授業料等の徴収が可決され、平成十九年度入学生から左記のとおり決まりました。  
 授業料 一一五、二〇〇円  
 入学金 五、六五〇円  
 入校者査料 二、二〇〇円

ただ今奮闘中

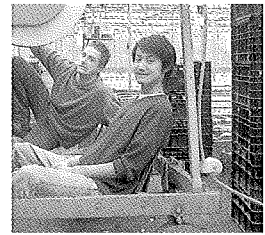


酒田市 久保 美佳 (平成16年卒)

私が就農して、今年で三年目に突入しました。長年、我が家では水稲をはじめ、アンデスメロン、ぶどう、柿などの複合経営を行ってきま

私が就農したことをきっかけに、昨年、高設ベンチを設置し、農大の時に学んだ四季なりイチゴ、それに、一季なりイチゴを組み合わせて、イチゴの周年栽培を始めました。これは、私の担当部門です。実際に栽培してみると、まだまだ分からないことがたくさんあります。そのたびに、先輩の方々などに教えていただき、色々な人に支えられながら、ただ今奮闘中です。当面の目標は、安定的に良いものが作れるよう、また、人とのつながりを大切に、農業を楽しめるように頑張っていきたいと思っています。

オンライン研修で得たもの



山形市 進藤 悠二 (平17年卒)

私は昨年、アムステルダムから北へ電車で45分、アルクマールに近い小さな町で、ユリとひまわりの栽培方法などについての貴重な研修をすることが出来ました。言葉の通じない異国ですべて、自分ひとりで生活することはありませんでした。易なことではありませんが、そんな中で、私は、自分を見つめ直すことができたと同時に、自分の無力さを少しずつ自信に変えていくことが出来ました。

また、仲間の大切さを再認識することが出来ました。これからも、常に自分を支えてくれる人たちを大切にしながら、オンラインでの研修の経験を生かし、ひとりの農業者として歩んでいきたいと思っています。

会員からひとこと

母校あねね

○東日本プロジェクト発表会最優秀受賞
平成18年1月25日、北海道立農業大学校で行われた東日本農業大学校等プロジェクト発表会で二年野菜コース横山愛さんが「カラーピーマンの栽培技術確立と消費拡大に向けて」と題して発表し、見事、最優秀賞に輝きました。本校にとって五年連続の快挙となりました。

○「農大市場」今年もオープン

創立50周年記念事業で建設された「農大市場」は御陰様で、今年七月、一周年を迎えました。学生達が丹精込めて育てた農産物は新鮮で、美味しく、安心して食べられることから消費者の評判も上々です。農産物が当たる「大抽選会」など、毎回、工夫をこらした企画で、地域の人々とのふれあいを大切にしています。また、卒業生の皆様の出店もお待ちしております。

おめでとー

○津藤前同窓会長が「大根根農場記念山形県農業賞」を受賞、表彰式は平成17年11月14日、山形市の文翔館で行われました。今後益々の活躍をご期待申し上げます。

お知らせ

○各種証明書の発行を申請する場合、手数料が必要になりました。申請書に必要な事項を記入し、一通につき二六〇円分の「山形県収入証紙」(県証紙)を貼付して農業大学校窓口で申請してください。様式は山形県ホームページ又は「やまがたアグリネット」農業大学のページからダウンロードできます。
問合せ先 農業大学校総務課
TEL 023312211527
FAX 023312313119
○同期会を開催する場合、助成金として一万円を支給します。申し込みは同窓会事務局まで。

◆平成19年度 農業大学校学生募集

募集人員 50名(推薦、一般入校あわせて)
応募資格 高校卒業又は来春卒業見込みの者(推薦入試は、来春、県内高校卒業見込みの者)
試験日
推薦入試 平成18年10月10日(金)
一般入試(前期) 平成18年12月15日(金)
一般入試(後期) 平成19年2月27日(火)
出願期間 推薦入試 平成18年10月13日(金)~10月27日(金)
一般入試(前期) 平成18年11月20日(月)~12月4日(月)
一般入試(後期) 平成19年1月30日(火)~2月13日(火)
問合せ先 農業大学校 入試担当
〒996-10052
新庄市大字角沢1366
TEL 023312211527
FAX 023312313119

平成18年度 同窓会役員

Table with columns: 総支部名, 役職名, 氏名, 期, 市町村名. Lists members of the alumni association for the 18th year.